作成日：2025 年　4 月　15 日

研究協力のお願い

昭和医科大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

COVID-19 患者の胸部 CT を用いた Opportunistic bone screening による脊椎椎体骨密度の変化
１．研究の対象および研究対象期間 2020 年 1 月から 2024 年 1 月までに昭和医科大学病院において COVID-19 肺炎にて入院し、複数回胸部 CT を施行された方。また同時期（2020 年以降）に他の原因による肺炎で当院に入院し複数回胸部 CT を施行された方。
２．研究目的・方法 最近の研究で、手術などの様々な体へのストレスと、骨が弱くなることが報告されています。しかしこれまでのところ COVID-19 肺炎の影響を調査した報告はあまりありません。最近よく行われるようになった既に撮影した CT 等の画像を用いた骨密度推定法により、通常の骨塩定量検査を行わずとも骨量の推定が可能になりました。COVID-19 では胸部 CT による診断・経過観察が行われます。それらの画像を用いた骨量の推移を測定し、病気の重症度等の項目との関連を調べることを目的とします。
３．研究期間 昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2026 年 4 月 30 日まで
４．研究に用いる試料・情報の種類 診療録上の情報のみを用います。具体的には、年齢、性別、既往歴、家族歴、および病気に関連する項目として、炎症反応・臓器障害の指標となる血液検査結果、肺炎の重症度指標、血中酸素飽和度の経過、ウィルス型、治療薬を調べます。骨に関連する事項としては、胸部 CT での背骨の骨密度、胸部単純 X 線写真での鎖骨の皮質骨の厚みを経時的に調査します。
５．外部への試料・情報の提供 該当いたしません。

６．研究組織

研究責任者　昭和医科大学病院　整形外科　岡野市郎

７．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学病院整形外科

氏名：百々悠介　岡野市郎

住所：品川区旗の台 1-5-8　6 号館 5 階 517 号室整形外科医局

電話番号：03-3784-8543